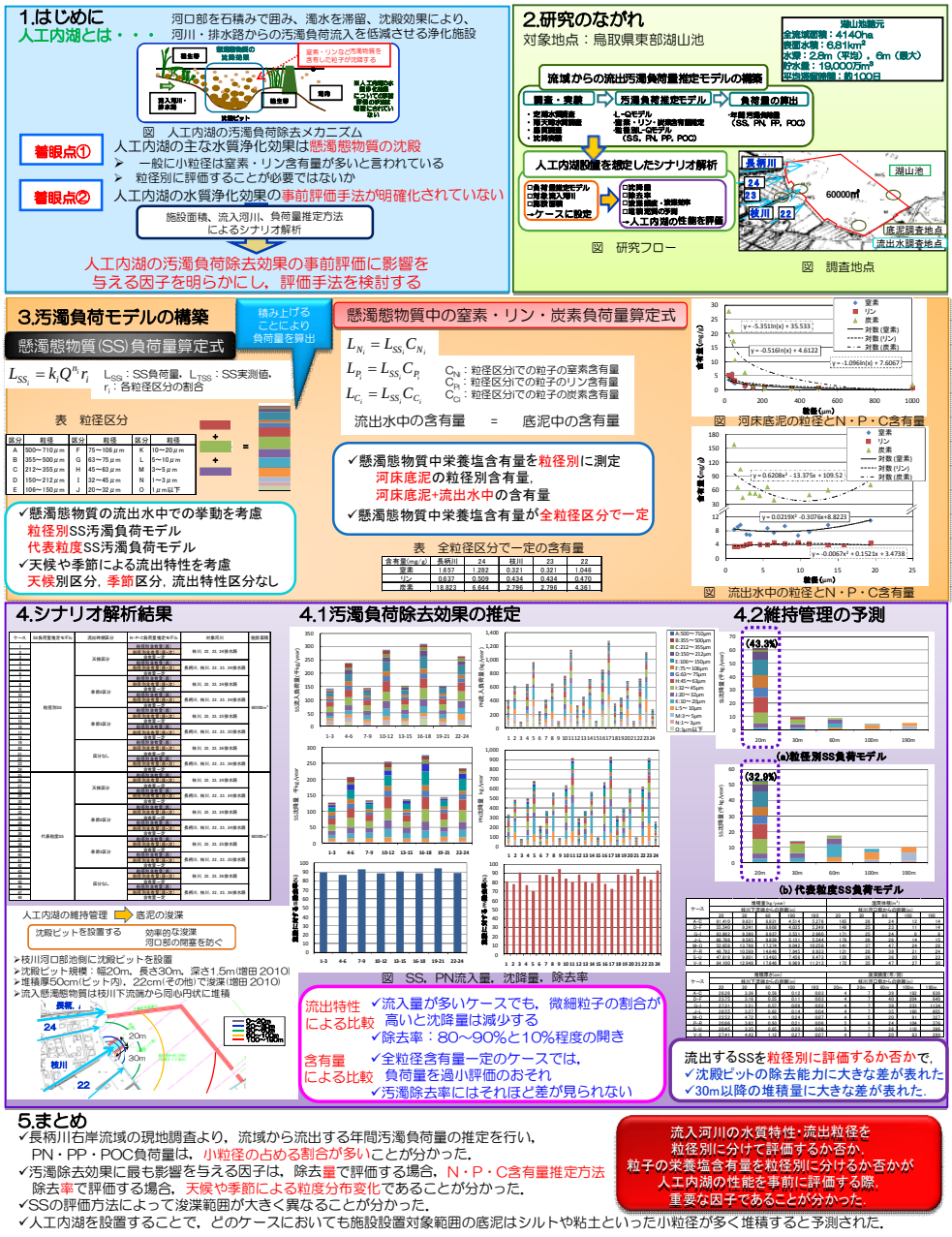
とっとり産業フェスティバル2010　ポスター発表

テーマ	湖内湖設計のための流出水調査方法および設計評価手法の開発 ～汚濁負荷除去効果の事前評価に影響を与える因子の検討～
発表者	増田貴則　鳥取大学大学院工学研究科　准教授

概　要　流出水（ﾉﾝﾎﾟｲﾝﾄ負荷）の性状を再現した上で，湖内湖施設（人工内湖）による汚濁負荷削減効果を評価する方法を構築することを目的とした．河川・農業排水路の流出調査に基づいて推定評価方法の異なるいくつかの負荷流出モデルを構築，湖内湖浄化施設設置を想定したシナリオ解析を行うことにより，湖内湖施設の汚濁負荷除去効果を事前評価する際の重要な因子を把握した．



【ライセンス情報】 特になし

【来場者へのメッセージ】全国の湖沼で流出水対策が重要となりつつある．本研究の成果をとりまとめることによって，流出水対策の必要な地域において，事業導入を検討する際に役立つものと考えている．

連絡先：　鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻　准教授　増田 貴則

鳥取市湖山町南４－１０１　　TEL. 0857－31－5318　E-mail:masuda@sse.tottori-u.ac.jp

分　野	環境	プレゼンタイム	無